

来春の高校・大学進学にご利用ください

市入学準備金貸付制度

市内企業からの寄附金と「安曇野ふるさと寄附」を活用し、未来を担う人材の育成に役立てるため、「市入学準備金貸付制度」を創設しました。平成29年4月に高等学校または大学等への入学を希望し、入学に必要な費用の支出が困難な場合にご利用ください。

制度の概要

高等学校または大学等への入学準備の際、市が入学に必要な費用を無利子で貸付ける制度です。利用の際は、所得要件などの条件があります。制度の詳細は「入学準備金貸付制度のご案内」をご覧ください。（案内は学校教育課または市ホームページから入手できます）

●対象

- 平成29年4月に高等学校、または大学等への進学を希望する生徒の保護者で、入学に要する費用の支出が困難な人で次の条件を満たす人
- ①市内に住民登録し、実際に居住していること
 - ②連帯保証人（1人）を立てられること
 - ③生計が同じ人の所得の合計額が基準額以下であること

●貸付限度額

学校種別等		貸付限度額
高等学校 高等専門学校	国・公立	10万円
	私立	30万円
大学 短期大学 専門学校	国・公立	40万円
	私立	60万円

●利用の流れ

- 申し込み（利用者）
（提出書類）
・入学準備金借受申請書
・生活状況の申告書
・同意書
・借受人本人、借受人と生計を同じにする人、連帯保証人のそれぞれの所得証明書
- 審査（市）
・提出書類により貸与の可否を決定します。
- 借用手続き（利用者）
（提出書類）
・入学準備金借用契約書
・申請者と連帯保証人の印鑑証明書
・入学が確実であることを証するもの（合格通知等）
・口座振替依頼書
- 貸付け（市）
・手続き完了後20日以内に、指定された口座に入金します。
- 返済開始（利用者）
・入学後、1カ月以内に入学を証する書類（在学証明書等）を提出します。
・入学した4月から月額での返済が始まります。

※所得要件のほかに生活困きゅうの状況によって貸付を受けることができる場合があります。

●連帯保証人の要件
市内に住民登録があり、実際に居住し次の条件を満たす人

①借受人とは別に独立の生計を営む20歳以上の人

②市税に滞納がない人

③後見や保佐、補助開始の審判または破産手続開始の決定を受けていない人

●利子 無利子

●返済方法 入学月の4月から各学校の通常の修学期間中に返済（繰り上げ返済可）。

●募集期間 11月1日から平成29年3月末日まで

●申し込み 学校教育課教育総務係（市役所3階7番窓口）

●電話番号 0271・2223 FAX 0271・2338



市入学準備金貸付制度の財源「安曇野ふるさと寄附」

総務省のふるさと納税制度は出身地や思い入れのある地の自治体へ寄附を行った場合、確定申告などをすることで、所得税・個人の住民税が軽減される制度です。

市では「安曇野ふるさと寄附」として平成20年度から取り組みをはじめ、これまで全国から約7億6060万円を寄附いただきました。いただいた寄附金は、産業振興や福祉の充実、教育振興など、市の3つの重点施策および市

長が選定する政策の取り組みに活用されました。

市外にお住まいのご家族や、お知り合いで市を応援いただける皆さんに「安曇野ふるさと寄附」制度をご紹介します。

制度の詳細は、総務課に問い合わせいただくか市ホームページをご覧ください。

図 総務課庶務法規担当

TEL 71・2408 FAX 71・5155

安曇野の子どもたちを育み活力あるまちづくりを目指します

この度、市内の株式会社マル井様から長年にわたり、人材育成のためにいただいた寄附金と「安曇野ふるさと寄附金」の一部を活用し、学習意欲があるにもかかわらず経済的な理由で進学等が困難な子どもたちの一助となるよう、高校・大学進学のための入学準備金制度を創設しました。

市では、「豊かな人を育むまちづくり」を重点施策の一つに掲げ取り組んでいます。将来の職業観や主権者意識を身に付ける「立志塾」、「中学生議会」の開催、国際感覚を養う「中学生海外ホームステイ」など、今後も安曇野らしい特色ある教育に取り組みしたいと思います。

次代を担う子どもたちは市の大切な宝です。さまざまな分野で活躍する人材育成と合わせて、ふるさと安曇野への定着も促し、「若者が活躍できる」活力あるまちづくりにも取り組んでいきます。

市長 宮澤宗弘

●寄附金の実績および活用状況（平成27年度）

寄附のテーマ（活用状況）	合計額（件数）
活力あふれるまちづくり	
主に、工業振興費（新技術の開発や生産設備の取得、工場の新設等の補助金）として活用しました。	2億7,188万7,000円 (1,520件)
健康長寿のまちづくり	
主に、在宅福祉事業費（介護予防運動グループへの補助金）として活用しました。	8,507万5,001円 (625件)
豊かな人を育むまちづくり	
主に、中学校教育振興費（中学校へのALT配置のための費用等）として活用しました。	1億8,528万7,001円 (1,168件)
市長が選定した政策等	
主に、水資源対策費（地下水涵養負担金等）として活用しました。	2億627万3210円 (1,126件)
合計	7億4,852万2212円 (4,439件)